

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	只見町立只見小学校
授業者	徳永 千聖

### 1. 単元計画

#### 1-1. 単元名

こうていで まちで はるを みつけよう

#### 1-2. 学年

第1・2学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

#### 1-4. 単元の概要

本単元は、身近な自然を観察したり、それを利用して遊んだりすることを通して、季節によって変わりゆく自然の様子に気づき、只見の自然の豊かさを実感し、親しみや愛着をもてるようにすることがねらいである。

2年生は、昨年度の経験から、学校の周りの散策やまち探検で、季節によって咲く植物や見られる虫が変化していることに気付いている。1年生もこれまでの経験や生活科で散策を繰り返してきたことで少しずつ気づき始めている。

そのような子どもたちが、単元を通して四季で変わっていく自然の様子をしっかりと捉えることができるようにしたいと考えた。そこで、入学して間もなく、文章で表現することが難しい1年生でも記録を残すことができるように、デジタルカメラやタブレットで撮影した写真を活用していく。それを「とっておきのアルバム」として、累積していくことで自然の移り変わりに気付くことができるようにしたい。

また、そのようにして得られた気づきを、とっておきの春の一枚として発表したり、聞いてくれた人から称賛や感想をもらったりすることで、発表の達成感をもたせるとともに只見の自然への認識を深め、親しみや愛着をもてるようにしていきたい。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

自分が生活している只見には、水という大切な資源が身近にあり、それによって豊かな自然や多様な動植物が支えられていることにも気付けるようにしていきたい。

2年生は、昨年度の学びから、堀や川、用水路などを流れる水が田畑へ流れ、農作物を育てていることに気づきつつある。そこで今年度は、草笛を作って遊んだり、生き物をじっくり観察したりするなどの只見の自然を見て、触れて、感じることでできる活動の中で、水との関わりについても問いかけ、考えることができるようにしていきたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

春の校庭や校舎の周り、キャンプ場での散策を通して、自分たちの住む只見町にはすてきな自然や虫がたくさんいることに気づき、只見に対しての親しみや愛着をもつことができるようにする。

1-7. 単元の展開（全14時間）

時数	主な学習内容	評価規準及び評価方法
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭と校舎の周りで春を感じる植物や虫探しをする。</li> <li>校庭で見つけた春をタブレットやデジタルカメラを使って撮影する。</li> <li>春になって変わったことや感じたことを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 校庭と校舎の周りの自然が毎年変化を繰り返していることに気付くことができる。(発言・行動観察)</li> <li>b 夏や秋、冬の様子を想起しながら、春の自然の特徴を探ることができる。(発言・行動観察)</li> <li>c 春の自然と直接関わり、春という季節のよさについて話すことができる。(発言・行動観察・観察カード)</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプ場を散策し、春を感じる植物や虫探しをする。</li> <li>キャンプ場で見つけた春をタブレットやデジタルカメラを使って撮影する。</li> <li>校庭で見つけた春との相違を伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a キャンプ場の自然も毎年変化を繰り返していることに気付くことができる。(発言・行動観察)</li> <li>b 夏や秋、冬の様子を想起しながら、春の自然の特徴を探ることができる。(発言・行動観察)</li> <li>c 春の自然と直接関わり、春という季節のよさについて話すことができる。(発言・行動観察・観察カード)</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>春探しで見つけたことを「とっておきの春アルバム」にまとめる。</li> <li>名前の分からない植物や虫などを図鑑で調べたり、詳しい人に聞いたりする。</li> <li>調べて分かったことや遊びを試してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 春の自然と関わりたいという思いをもち、春の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。(発言・行動観察)</li> <li>b 見つけた春を詳しく調べたり、作品に表現したりすることができる。(行動観察・作品)</li> </ul>
1 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者を招き、「とっておきの春アルバム」を紹介し、只見のすてきな春を伝え合い、気付いたことをまとめることで只見の自然のよさを見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>a 校庭と校舎の周りやキャンプ場散策をして見つけた春を絵や写真、文にまとめ、共有することで、只見の豊かな自然と多様な動植物に気づき、さらに只見に親しみや愛着をもつことができる。(行動観察・発言)</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

とっておきの春アルバムの発表をして、気付いたことを友達や保護者と伝え合うことを通して、さらに只見に親しみや愛着をもつことができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 教師の「とっておきの春アルバム」の発表を聞く。</p> <p>2 めあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>ただみのはるをたくさんみつけよう！</p> </div> <p>3 グループに分かれ「とっておきの春アルバム」を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とっておきの春アルバム」の中から 1 枚選び、花グループ、虫グループ、景色グループに分かれ、発表する。</li> <li>・発表で初めて分かったこと、やってみたいこと、質問したいことを共有する。</li> <li>・保護者から感想や補足説明をしてもらう。</li> </ul> <p>4 新しく分かったことや発見したことを自分の「とっておきの春アルバム」に書き加える。</p> <p>○ 「とっておきの春アルバム」の発表を聞くことで、本時の発表や活動意欲を高める。また、発表の感想を共有することで、本時の流れをつかむ。</p> <p>5 伝え合う活動を通して、分かったこと、気付いたことや感じたことをワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・只見の春には、たくさんの虫や花が見られた。</li> <li>・次はどんな景色に変わるのか。</li> </ul>	<p>○ 「とっておきの春アルバム」の発表を聞くことで、本時の発表や活動意欲を高める。また、発表の感想を共有することで、本時の流れをつかむ。</p> <p>○ 発表の内容でポイントになるものを板書しておくことで、振り返りに活用できるようにする。</p> <p>○ 友達や保護者に伝わった只見のよさという視点で子供たちの発表を称賛してもらうことで、只見の春のよさをより強く実感し、只見に親しみや愛着をもつことができるようにする。</p> <p>○ 各グループの発表後に友達や保護者からの話を聞くことで、只見にはさらによいところがあることを実感することができるようにする。</p> <p>○ 友達の意見を書き加えることで、新たな只見のよさに気付くことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>分かったことを伝え合う活動を通して、只見に親しみや愛着をもつことができる。</p> <p style="text-align: right;">(観察・ワークシート)</p> </div> <p>○ 自分の発表や友達の発表を聞いて、気付いたことや感じたことをワークシートにまとめることで、只見のよいところを実感できるようにする。</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

- ゲストティーチャーの活用として、ブナセンターの職員を招いたことで動植物への理解を深めることができた。
- 自分の撮影した写真を使うことで、特別なアルバム作成ができた。累積したデータを比較したりすることができていた。
- 残雪の写真を比較し、発表する子どもがいた。今後学習する水の循環につながる。
- 同じ季節でも子どもによって取り上げる動植物や景色が様々だった。友達の発表を聞き、気になることをたくさん質問したり、発表するときはゲストティーチャーから聞いた話などを付け足したりしながら活動できていて充実していた。
- ワークシートへ付け加える活動がよくできていた。
- 今回の授業で親しみや愛着はもてるのか。愛着は6年間をかけて積み上げていくものだと考えると、今回の授業はそのきっかけになるものだった。
- 1時間でできる授業ではなかった。2回に分けるなどして時間に余裕ができれば、保護者との交流もできたのではないかな。



### 4. 今後の課題

保護者に発表を聞いていただき、発表のよさだけでなく、伝わった内容・補足説明を返していただくことで、自分たちの気付いた只見の春のよさをより強く実感したり、新たな只見のよさに気付いたりし、只見に親しみや愛着をもつことができるようにと考えた。しかし、只見への愛着を求めるのであれば、本時のみでその変容を見取ることは難しいと考える。また、第三者から認められることでさらに意味付くとも考える。そこで、今後は、オンラインで他の地域とつながることも視野に入れていきたい。



### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。